

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-511643(P2006-511643A)  
【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)  
【年通号数】公開・登録公報2006-014  
【出願番号】特願2004-563682(P2004-563682)  
【国際特許分類】

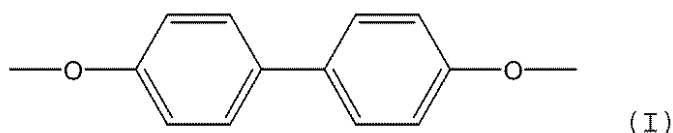
**C 0 8 G 63/60 (2006.01)**

【F I】  
C 0 8 G 63/60

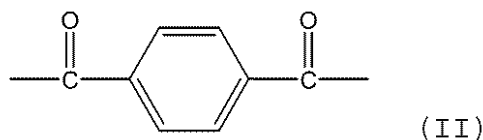
【手続補正書】  
【提出日】平成18年10月19日(2006.10.19)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項1】  
次式：

## 【化 1】

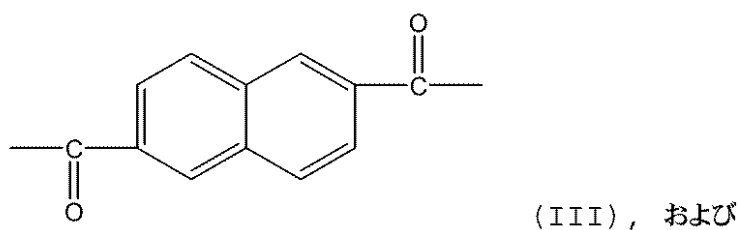
(a)



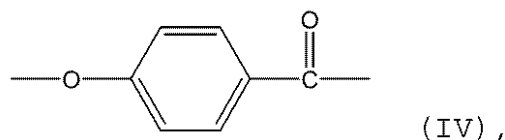
(b)



(c)



(d)



(式中、(I)の100モル部に対して、(II)は85～98モル部であり、(III)は2～15モル部であり、(IV)は100～210モル部であって、

ただし、

(I)/(II)+(III)のモル比が、約0.90～約1.10であり、

(IV)が175モル部以上のとき、(III)が2～10モル部であり、および

前記液晶ポリマーの融点が400以上であることを条件とする)の繰り返し単位から本質的になる液晶ポリマーを含むことを特徴とする組成物。

## 【請求項 2】

前記モル比が約0.95～約1.05であることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

## 【請求項 3】

5～約1000ppmのアルカリ金属カチオンをさらに含むことを特徴とする請求項1または2に記載の組成物。

## 【請求項 4】

請求項1から3のいずれかに記載の組成物の造形品またはフィルム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

カリウムカチオンを存在させずに、実施例2の組成物のLCPを作製すると、融点は4

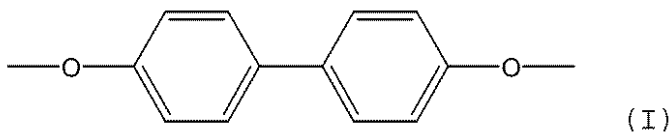
24 であり、そのポリマーの色はより暗いものであった。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

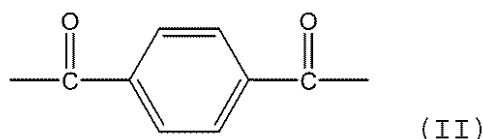
[1] 次式：

【化2】

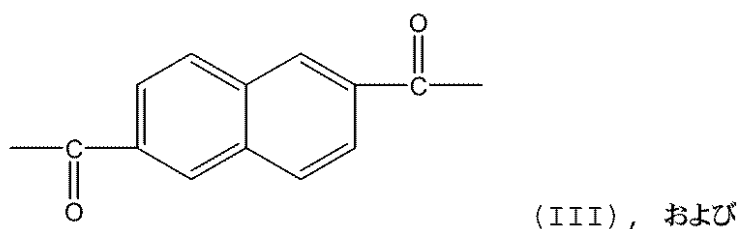
(a)



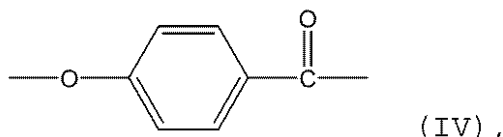
(b)



(c)



(d)



(式中、(I)の100モル部に対して、(II)は85～98モル部であり、(III)は2～15モル部であり、(IV)は100～210モル部であって、ただし、

(I)/(II)+(III)のモル比が、約0.90～約1.10であり、

(IV)が175モル部以上のとき、(III)が2～10モル部であり、および

前記液晶ポリマーの融点が400 以上であることを条件とする)の繰り返し単位から本質的になる液晶ポリマーを含むことを特徴とする組成物。

[2] 3～約10モル部の(II)が存在することを特徴とする[1]に記載の組成物。

[3] 90～97モル部の(III)が存在することを特徴とする[1]または[2]に記載の組成物。

[4] 約100～約175モル部の(IV)が存在することを特徴とする[1]～[3]のいずれか1項に記載の組成物。

[5] 3～約10モル部の(II)が存在し、90～97モル部の(III)が存在し、および約100～約175モル部の(IV)が存在することを特徴とする[1]に記載の組成物。

[6] 前記融点が約410 以上であることを特徴とする[1]～[5]のいずれか1項に記載の組成物。

[7] 前記モル比が約0.95～約1.05であることを特徴とする[1]～[6]の

いずれか 1 項に記載の組成物。

[ 8 ] 5 ～ 約 1 0 0 0 p p m のアルカリ金属カチオンをさらに含むことを特徴とする [ 1 ] ～ [ 7 ] のいずれか 1 項に記載の組成物。

[ 9 ] [ 1 ] ～ [ 8 ] のいずれか 1 項に記載の組成物の造形品またはフィルム。